

学校における教育課程編成の実証的研究 (Empirical study on the formation of school curricula)

本プロジェクト研究は、学校における教育課程編成を充実するための課題を実証研究に基づいて明らかにしようとするものである。具体的には、①研究開発学校におけるカリキュラム・マネジメントの実践事例分析、②現代的な諸課題に対応した資質・能力を教科等横断的視点で育成するカリキュラム開発に関する事例研究、③諸外国の教育課程改革の動向調査の三つの柱で研究を進め、今後の学習指導要領改訂に向けた基礎資料を提供することを目指す。

カリキュラム・マネジメントとは

各学校が、児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、

- 教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていく
- 教育課程の実現状況を評価してその改善を図っていく
- 教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていく

組織的かつ計画的に各学校の質の向上を図っていくこと

教育課程に関するこれまでの研究

- **教育課程の編成に関する基礎的研究（H21～25年度）**
国内外で提起された育成を目指す資質・能力を整理
- **資質・能力を育成する教育課程の在り方に関する研究（H26～28年度）**
目標・内容・方法・評価の一体的な検討

主な知見や示唆

- カリキュラム・マネジメントの充実には、育成を目指す資質・能力を共有する学校文化の醸成と学校を支える自治体・地域のネットワークづくりが求められる。
- 「現代的な諸課題」を扱う教科等横断的な学習では、各教科等を学ぶ意義を認識し、各教科の枠を越えた多面的・多角的な視点の活用する力などの育成が期待される。
- 一部の諸外国・地域では、STEAM教育の推進のため、教育インフラのネットワーク化や探究型学習の計画等を支援する教員の配置等がなされている。
- 諸外国・地域では、人間性や市民性を含め、現代的な諸課題に対応した資質・能力を育成する学習領域が教育課程に位置付けられるとともに、各学校による柔軟な教育課程編成と教育の質向上を支援する方策の検討が進んでいる。